

# でん粉原料用サツマイモ品種「こないしん」の施肥量

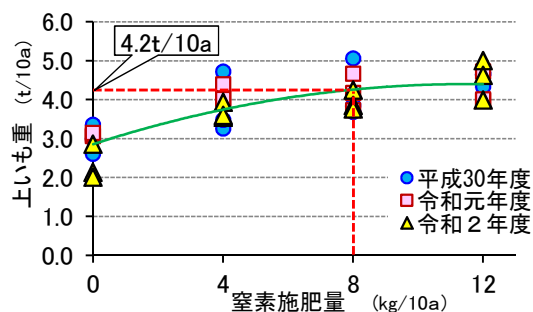
「こないしん」は、窒素施肥量8～10kg/10aで4t/10a以上の上いも重が得られる

## 背景・目的

- 平成30年度に奨励品種に採用された「こないしん」は、「シロユタカ」に比べてつる割病抵抗性が強く、多収
- 「こないしん」の収量特性や収益性等を考慮した、施肥基準が未確立

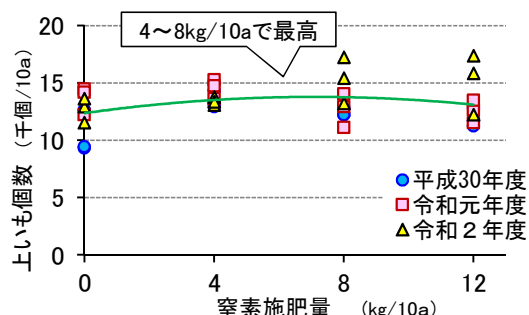
## 成果の内容

- ① 窒素施肥量8kg/10aのとき、4.2t/10aの上いも重が得られる



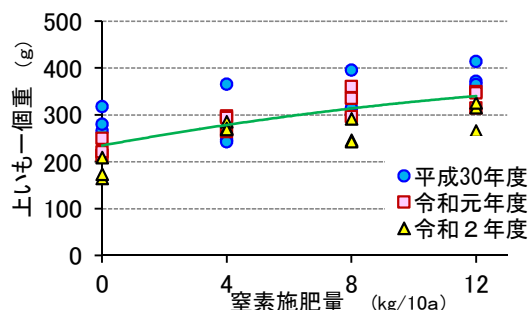
① 窒素施肥量と上いも重

- ② 窒素施肥量が多いほど上いも個数は増加するが、4～8kg/10aで頭打ちになる



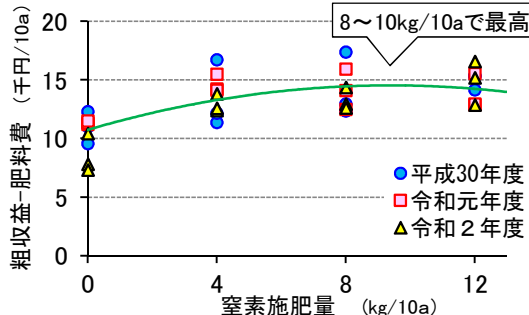
② 窒素施肥量と上いも個数

- ③ 窒素施肥量が多いほど、上いも一個重は増加する



③ 窒素施肥量と上いも一個重

- ④ 費用対効果(粗収益-肥料費)は、窒素施肥量10kg/10aまで上昇する



④ 窒素施肥量と「粗収益-肥料費」

※肥料の種類は、原料用サツマイモ栽培で一般的に使われる配合肥料(8-12-24等)が適する  
種いも採取用(一個重200～300g)として栽培する場合には、窒素施肥量4kg/10a程度が望ましい

## 期待される効果

- ① 「こないしん」の生産安定
- ② でん粉原料用サツマイモ農家の収益性向上
- ③ でん粉工場の安定操業



○普及対象・範囲  
本土及び熊本地域のでん粉原料用サツマイモ生産者

鹿児島県農業開発総合センター  
大隅支場環境研究室

公募(イノベ29028C)